

修了認定・学位授与の方針(DP)	(1) 日本語・日本文学研究の包括的な理論と精緻な文献・資料の分析に基づく研究によって、高度専門職業人として必要な研究能力を有しています。 (2) 高度専門職業人として日本語・日本文学研究の発展に貢献する能力を持ち、高い倫理観を備えています。				
対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)	(1)(2)
到達目標	A 日本文学に関する先行研究を踏まえた上で、自らの問題意識を明らかにすることができる。論理的に思考し、独自の考察を展開することができる。また、日本文学に関する研究の成果を適切な文章で表現することができる。また、日本文学に関する学会などで、周囲と協調しながら研究を企画し進めていく調整力を有している。	B 日本語学に関する先行研究を踏まえた上で、自らの問題意識を明らかにすることができる。論理的に思考し、独自の考察を展開することができる。また、日本語学に関する研究の成果を適切な文章で表現することができる。また、日本語学に関する学会などで、周囲と協調しながら研究を企画し進めていく調整力を有している。	C 日本文学または日本語学に関する先行研究を踏まえた上で、独自の問題設定を行うことができるとともに、論理的に思考し、独自の考察を展開することができる。また、学際的な知見にもとづく応用力を有しているとともに、日本文学または日本語学に関する研究の成果を適切な文章で表現することができる。	D 目的に応じた精緻な文献・資料の調査能力や、広い視野から多角的に研究する能力、日本文化の幅広い教養を有している。また、高い日本語運用能力を生かし、社会に貢献できる倫理と行動力を有しているとともに、研究内容を実人生や実社会とつなげて考え、自らの人格を陶冶することができる。	E 専攻・領域を超えて、多様化する社会に対応した幅広い専門的知見と柔軟な思考力を有している。
科目群	必修科目 (日本文学)	必修科目 (日本語学)	必修科目	選択科目	専攻横断科目
<専門探究コース>修士論文の作成、口述試験 <多元教養コース>修士論文または修士論文に代わる研究成果物の作成、口述試験					
2年	日本文学演習Ⅱa・Ⅱb 日本文学演習Ⅰa・Ⅰb	日本語学演習Ⅱa・Ⅱb 日本語学演習Ⅰa・Ⅰb	特定研究	日本文学演習Ⅲa・Ⅲb 日本語学演習Ⅲa・Ⅲb 日本文学研究Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb 日本文学研究Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb 日本語学研究Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb 日本語学研究Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb 日本語教育研究Ⅰ・Ⅱ 日本文学特殊講義Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb 日本語学特殊講義Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb 国語科教育特殊講義Ⅰ・Ⅱ	日本文学の主要問題a・b 日本語学の主要問題a・b 英語学の主要問題a・b 英米文学の主要問題a・b 英米文化の主要問題a・b 応用社会学の主要問題Ⅰ・Ⅱ 歴史学と地理学の主要問題Ⅰ・Ⅱ 人間科学の主要問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 人間科学の主要問題Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
1年					

<専門探究コース>

1. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることことができる。
注）上記1の他専攻の開講科目（専門科目に限る。）は、カリキュラムツリー上に表示していない。

<多元教養コース>

1. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることことができる。
注）上記1の他専攻の開講科目（専門科目に限る。）は、カリキュラムツリー上に表示していない。